

若宮卯之助 卯之助 評論家。明治五年九月二十一日富山縣生れ、昭和十二年四月二十日没（一八七二—一九三六）。上京して哲學館に學ぶ。明治三十一年アメリカ、次いでイギリスの大學に學び、在外九年餘、四十年歸朝。中央新聞社に入り主筆、社説「天無口」を連載して文名を擧ぐ。大正十年慶應義塾大學文學部講師となり社會學を擔當。十四年日本新聞社主筆。昭和二年北哈と号して接けて雜誌「祖國」を創刊、翌年北等の祖國同志會結成に參與するなど、日本主義思想の鼓吹に努めた。

譯書、ジヨージ・キリアム・ノツクス著「東洋文明論」（明治四十年九月）「内外出版協會」の他、著書に「米國史」（明治四十一年六月）「二十六日實業之日本社」、コ「讀ヲ乞フ」（大正三年一月五日ナシヨナル社）、コ「日本精神を闡明す」（他五名共著、昭和九年十月二十日祖國會出版部）等。

